

令和4年12月藤沢市議会定例会 記者会見資料

令和4年度12月 補正予算案の概要

1 2月補正予算案

令和4年度12月補正予算は、新型コロナウイルス感染症への対応事業、原油価格・物価高騰への対応を含め、9月補正予算成立後に生じた特別な理由により、緊急に補正を必要とする事業、工事の平準化を目的として債務負担行為を設定する事業等について、補正予算を編成します。

1 補正予算案の概要

(単位：千円)

会計別	9月補正後 予算額	12月補正 予算額	12月補正後 予算額
一般会計	170,667,329	891,297	171,558,626
特別会計	124,859,345	618,164	125,477,509
合計	295,526,674	1,509,461	297,036,135

2 補正予算案の主な内容

新型コロナウイルス感染症対応事業

(13事業) 395,208千円

事業内訳は資料1及び資料2の○印で表示

◇感染症対策事業費

356,484千円

感染者数の増加により年度末までに不足が生じる検査費用やその事務手数料、陽性患者の搬送費用、新型コロナウイルス感染症に係る県への負担金などを増額するもの。

◇衛生検査事業費

11,318千円

新型コロナウイルス感染症の感染状況の早急な把握とまん延防止のため、PCR検査用の検査機器の整備に要する経費を増額するもの。

◇スポーツ施設整備費

8,151千円

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、秋葉台文化体育館等において、適切な換気を行うため、大型送風機を購入するもの。

原油価格・物価高騰対応事業

(18事業) 433,365千円

原油価格・物価高騰により、自治会等が維持管理する防犯灯の電気料の補助に不足が見込まれることから補助金を増額するとともに、市内幼稚園等へ、光熱費等の上昇による影響を抑え、安定的な施設運営を行うための支援金を支給するもの。また、公共施設において年度末までに不足が見込まれる燃料費・電気代・ガス代に係る経費を増額するもの。

①金額

18事業合計 433,365千円

②事業内訳

資料1及び資料2の■印で表示

工事の平準化を目的とした事業

(限度額) 347,435千円

①目的

1年間の中で年度初めに工事量が少なくなる一方で、年度の後半にかけて工事量が多くなるため、工事等の時期を平準化することにより、市内中小企業の年間を通じた経営の安定化を図るなど、市内経済の活性化に資する取組として債務負担行為を設定するもの。

②設定金額

一般会計 (限度額) 288,423千円 (4事業 18件)

特別会計 (限度額) 59,012千円 (2会計 5件)

③事業内訳

資料1の◇印で表示



*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所

財務部 財政課

大塚 内線 2301

企画政策部 秘書課

谷津倉 内線 2110

企画政策部 広報シティプロモーション課

鳥原 内線 2120